



第140号
 平成30年12月15日
 発行：公益社団法人
 日野市シルバー
 人材センター
 編集：広報委員会
 日野市日野本町2-4-7
 TEL:042-581-8171



会員数(人)

平成30年10月31日	
計	1,701
男性	1,206
女性	495
10月入会者	29
(男19、女10)	
10月退会者	16
(男11、女5)	

日野市SC設立40周年記念式典

準備は着々と進行 来年4月20日挙行

日野市シルバー人材センター(SC)は平成最後の年、来年2月に設立40周年を迎えます。

本年4月に「40周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、委員長に有賀信夫会長、副委員長に賀来英紀総務委員会委員長を選任、事務局からは増子常務理事・鶴川正直次長。そして各委員会から7人、合計11人で基本的な考え方や式典のコンセプト等の議論を重ねてきました。

記念式典は、平成31年4月20日ひの煉瓦ホール(日野市民会館)を会場に、午後1時から3時まで。

市長をはじめ、国会議員・都議会議員・市議会議員、長年にわたり仕事を発注していただいている法人各社そして10年以上の在籍で未表彰の会員をご招待して、盛大に晴れやかにを行います。

日野市SC40年の業容拡大・発



480ml真空ステンレスボトル

展を喜び、さらに「日野市シルバーここにあり」を関係者、市民に間接的にアピールしていくものです。そして、SCを取り巻く、すべての方に「ありがとう」の気持ちを伝えるられる記念式典にいたします。

第一部の式典では、

発注企業表彰の対象として、前年度契約金額が百万円以上で、かつ10年以上継続して発注のある31社に、感謝状と記念品を贈呈します。

第二部の講演では、

また会員の表彰対象者は、308人で感謝状とギフトカタログを贈り、一般会員には全員に記念品としてウエストポーチ(写真上)を、式典当日の参加者には、さらに真空ステンレスボトル(写真右)をもれなく差し上げます。

橋本五郎氏(読売新聞特別編集委員)をお招きして「シルバー人材センターに期待すること」と題した記念講演をしていただきます。

みんなで祝おう40周年！

SC40周年の大きな節目に在籍していることは偶然かもしれませんが、そこには別の大事な意味があると思います。

会員の皆様、ご多忙とは存じ

ますが万障お繰り合わせのうえ40周年記念式典に出席して、我々のSC40年をみんなで祝いましょう！

なお、記念式典に出席する予定で出席票が未届けの会員の方は、出席票に記入して、事務局にご提出いただくか、12月〜1月にかけて開催される地域班会議にて理事にお渡しください。

提出の締め切りは平成31年1月31日です。

【橋本五郎氏プロフィール】

1946年生まれ、1970年読売新聞社入社 本社政治部を経て、論説委員、政治部長を歴任。1999年から日本テレビ「ズーム



イン！朝」に出演。親しみやすさとわかりやすい解説が人気です。



ウエストポーチ

共働・共助

配分金の支払日

- 12月20日(木)
- 1月18日(金)
- 2月20日(水)
- 3月20日(水)
- 4月19日(金)
- 5月20日(月)

再生紙を使用しています

全会員対象に 就業選考基準説明会

本紙前号(11月号)でお知らせした就業選考の新しい運用方法についての会員向け説明会が11月27、28日の両日、センター会議室で開かれ、両日で会員計26人が参加しました。

就業選考はこれまで未就業期間の長さや申し込み回数が多さが基本でしたが、新運用ではこの2項目に加えて新たに地域班会議出席などセンター組織活動参加度や委員会委員、班長などセンター貢献度もそれぞれポイント化し、それらを合算した上で総合的に選考することになりました。新運用は来年4月からの就業に適用される予定です。

両日の説明会では、生田局長代理が新運用方法のシミュレーション映像をスクリーン上に映し出すなどして具体的に説明。その後には質疑応答がありました。ここでは3つの質問とそれに対する回答を紹介します。

①質問「仕事で班会議などに出席できないことがある。それは配慮してもらえないのか」**答え**「年6回の組織活動で、ポイントが付く



プロジェクトを使い説明する
生田局長代理(右端)

のは上限4回まで。4回の参加なら何とかその回数に近づけられるのでは」

②質問「スクールガードボランティアなどがポイントの対象にならないのは何故か」**答え**「ポイントは、全会員に参加を呼びかける、いわばセンター公認の行事を対象としている」

③質問「自分のポイント数は応募したときに教えてくれるのか」**答え**「基本的には自身で計算してほしい。ケースによっては聞かれれば答える場合もあると思う」

清掃グループ交流会

働きやすい職場を目指し、会

員相互のサポート体制作りを進めている清掃グループの交流会が11月14日午後、会員30人が参加して当センター会議室で開かれました。

清掃の仕事は多岐にわたりますが、マンションや会社ビルなどの清掃は会員が1人で作業をする「1人就業」がきわめて多いのが特徴です。そのため、担当の会員が病気やケガ、その他の理由で仕事が急にならなくなった場合、その穴をどう埋めるかというリスクが常にあり、サポート体制作りが急務となっていました。

清掃グループは昨年から、市内を4つの地区に分け、各地区内にマンションや会社ビル清掃の仕事をもち、会員をそれぞれグループ化し、緊急にサポートが必要となった場合に各グループ内の誰かが代わって仕事に就く体制作りを進めてきました。

今回の交流会は各グループのリーダーらがサポート出勤したケースなどを具体的に報告。「お客様に迷惑をかけないために、より万全のサポート体制を整えたい」「取り組みに協力してくれる会員数がまだ不十分」といった発言もありました。

理事会ニュース

★第8回理事会 11月26日

- ・審議事項Ⅱ正会員の入会(11人承認、12月1日11人入会)
- ・報告事項Ⅱ平成30年度事業実績(4〜10月分)Ⅱ契約金額3億9354万円(前年度比3.1%増)

「センター行事日程」

- 1月8日(火)朝のあいさつ運動Ⅱ各小中学校
- 1月4日(金)役員顔合わせⅡセンター会議室

「お知らせ」

年末年始の業務案内について

- ・事務局の休み
平成30年12月29日(土)から平成31年1月3日(木)まで。
- ・就業報告書提出期限
12月就業分は1月4日(金)までに提出してください。(休日でも事務局の郵便受けに投函すればOKです)
- ・後期地域班会議の開催
地域班会議が12月から1月にかけて開催されます。声をかけあつて参加しましょう。

・40周年記念式典出席票

提出締め切りは平成31年1月31日です。

地域班会議での質問に 対する回答 (抜粋)

平成30年度前期「地域班会議」での質問に対する回答です。先月号に続き掲載します。

3 会報誌「シルバーひの」が、昨年7月の第193号でストップしたままになっています。既に1年がたちましたが、何の告知もありません。まずいのではないのでしょうか？

回答 広報委員会は平成29年以降、月間さわやか発行のほか、センターの基本方針である「対外広報の強化」に重点的に取り組んできました。「シルバー知っ得！ガイド」の刊行や日野市産業まつりへの再出展など各種イベントへの参加。このため冊子「シルバーひの」は、委員会内では当面休止と位置付けていました。今後はこうした冊子に対する委員のニーズや発行経費、広報委員会が取り組むべき課題の中での優先度、さらに同冊子のこれまでの内容なども含めて慎重に検討したうえで、

委員会としてどのような方針で臨むかを明らかにしたいと考えています。(広報委員会)

4 6月20日の定時総会での会員表彰で、4名の会員が表彰されました(地域班長3名、委員会委員1名)地域班長は自明ですが、委員会委員には疑問があります。司会者の説明では「それぞれ2期4年以上勤めた人」とのことでしたが、それなら他にも対象者がいます。どのような選別が行われたのでしょうか？

回答 平成28年12月開催の平成28年度第9回理事会において表彰規程が改正され、その第2条2号(表彰の種類)において、各種委員会委員が表彰されるようになりました。それ以前は、「役員」を拡大的に解釈して、地域班長は表彰対象としていましたが、委員会委員は対象外でしたので、平成29年1月1日以降は、現行の規程に則って表彰を行っています。ご指摘のように対象者に漏れがないか確認します。(総務委員会)

昨年引き続き 産業まつりに参加

日野市の農業や商工業の姿を紹介し、市民との交流を深める「第52回日野市産業まつり」が11月10、11日の2日間、市民の森ふれあいホールなどを会場に開催されました。市内最大級のこのまつりには、屋内ブースでの展示・販売、屋外での飲食関係の出店などを合わせ約110団体が増加。他にダンスフェスタなどのステージイベントにも多くの団体が出場し、好天に恵まれた会場は両日で延べ5000人近い来場者でにぎわいました。

当SCは昨年、9年ぶりに再出



ブースでPR活動する広報委員

展したのに続いて2回目の参加。広報委員会メンバーが屋内ブースを拠点にSCの存在をアピールし、その活動を知ってもらうためのチラシや広報冊子を来場者に積極的に配布しました。

今回の出展で目立ったのは、ブースを訪れるお客様に、60代半ばぐらいの男性が多かったこと。「まもなく定年になるので、次はシルバーで働こうかなと思いついて、立ち寄りました」や「今月の入会説明会に参加しました。次は面談ですが、どんなことを聞かれるのかな」などSCをこれからの「居場所」として話をされる方も少なくなく、この世代にSCへの認知が予想以上に広がっていることをうかがわせました。

またお客様からは「庭木の手入れでお世話になっている」「刃物研ぎのスケジュールを知りたい」「電球を取り替えてもらえますか？」などSCが身近な生活に溶け込んでいる話も多くいただきました。SCの認知度がある程度深まりつつあるとすれば、次はSCの活動をより具体的に知ってもらい活用していただくことが大きな目標になる。今回の出展ではそんな印象を強く持ちました。

転倒しないために

東京都SCC連合安全大会から

平成30年9月28日(金)、「平成30年度シルバー人材センター安全大会」が都内のSCC出席の下、東京しごとセンターで開催されました。安全就業優良SCCや安全就業標語入賞の表彰の後、「転倒防止のための就業環境整備について」の講演がありましたので、その要旨を掲載します。

転倒が事故原因のトップになったのは平成17年で、その後も増加傾向です。転倒の40%強は「滑り」によるものです。では転倒した場合どのような負傷になるのでしょうか？それは骨折です。それも、手首の骨折が上肢全体の60%を占めます。それでは何故手首骨折が多いのか？次のことが考えられます。

- ◎加齢により筋力・敏捷性の低下が影響した
- ◎床面に手を出すのが遅れた
- ◎骨密度や皮下組織の粘弾性の低下

滑り防止の対策としては、

●濡れ、油污れの排除など

・油污れは、洗剤の塗布やお湯

を流すだけでもよい

●安全靴やプロテクティブスニーカーを履く

これから冬の季節となります。降雪・凍結が多くなるので滑りにくい靴が必須です。屋外だけでなく、屋内の水たまりも凍結しているかもしれない。事前防止として砂をまくのも一つの方法。凍結時には必ず滑るという注意が必要です。また階段の昇降時には手すりを持つようにしましょう。

今年度の事故

10月に2件発生

10月に入り事故が2件発生しました。これで今年度の事故は合計4件となります。次にその状況を記載します。

事故①

・女性

・仕事Ⅱ検査器具の洗浄

・発生日時Ⅱ10月12日(金)

・状況Ⅱ就業の帰りに路上のマシンの段差につまずき、転倒して額と口内に傷を負いました。

事故②

・男性

・仕事Ⅱ小学校の校舎管理

・発生日時Ⅱ10月28日(日)
・状況Ⅱ自転車・自動車通用門の施設の際、錠を掛ける為の鉄板と門の間に左手小指を挟まれ裂傷を負いました。

ゴルフ愛好会「さくら会」

平成30年度第4回コンペ開催

日野市シルバー人材センターのゴルフ愛好会である「さくら会」は発足17年を経過しました。30年度の第4回最終コンペが11月8日



コンペ開始前10番ホールをバックに

(木)、山梨県大月市の花咲カントリー倶楽部で参加者34名にて和気あいあいのなかにもひそかに優勝を胸に楽しくプレーを展開しました。結果は、日野1班河津弘さんがグロス86で見事優勝杯を獲得いたしました。

現在「さくら会」は会員総数46名を数え健康維持、ストレス解消のために全員が元気一杯楽しんでいます。

なお、「さくら会」会長としてご尽力されました賀来英紀さんが本年度で退任されます。長い間ありがとうございました。次期会長は全会一致で宮脇茂さんに決まりました。

来年度の第1回は4月11日(木)に開催予定です。新たな会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

「さくら会」会長 賀来英紀

連絡先 幹事 宮脇 茂

携帯 090(2)2556)2536

市実施の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます。

★各種がん検診、肝炎ウイルス検診等については市健康課にお問い合わせください。

☎042(581)4111

日野市SCC40周年記念式典

平成31年4月20日(土)

あじふか月